

アドラー式・保健室実践研究会(略称:アドケン)
【理念】

本研究会は、
Alfred Adler の心理学を土台に、

保健室で出会う子どもたちの行動を
「問題」ではなく「目的」からとらえ、

勇気づけを軸としたかかわりを探究する場です。

私たちは、

正解を教わるのではなく

互いの実践を持ち寄り

見立てを深め合い

次の一歩を持ち帰る

そんな“安心と成長が両立する場”を目指します。

【会の概要】

■ 名称

アドラー式・保健室実践研究会
(略称:アドケン)

■ 目的

養護教諭が孤立せず、
実践を振り返り、
見立てを深め、
勇気をもって次の一歩を踏み出せる場をつくること。

■ 対象

養護教諭

■ 開催回数

年間3～4回(1年間で一区切り)

■ 時間

60分

■ 参加費

500円(継続可能な学びの場を維持するための参加費)
初回無料

■ 運営スタイル

主宰はファシリテーターとして場を整え、
参加者同士の対話を深める。

【会の進め方(60分構成)】

① 安心の時間(約15分)

- ・最近の保健室で心が動いたこと
- ・小さな違和感や気づき
- ・モヤモヤしていること

否定・評価はしない。
まずは語れる空気をつくる。

② 実践探究(約35分)

事例を取り上げ、

- ・この行動の目的は何か
- ・誰の課題か
- ・勇気づけになっている関わりはあるか
- ・別の見立てはあるか

を、アドラー視点で整理する。

主宰は答えを示すのではなく、
問いを投げ、視点を翻訳する役割を担う。

③ 次の一步を決める(約10分)

「来週からやってみること」を一つ決める。

小さく、具体的に。

実践に落とし込むことで、
研究を“行動”に変える。

▶この会が目指す状態

- ・安心して語れる
- ・しかし甘くはない
- ・見立てが深まる
- ・勇気をもって動ける

一年後、

「ここがあるから続けられる」

そう言ってもらえる場になること。

